

夕張市財政再建計画の変更 (平成21年9月)の概要

- 本年3月6日に夕張市の財政再建計画の変更に同意したが、その後に発生した新たな事情に早急に対応するため、再建計画に計上した平成21年度分の歳入・歳出額を変更するもの。
- 変更に伴い必要となる財源については、新たな歳入の確保や歳出の抑制により対応することとしており、再建計画の主要部分である財政再建期間及び財政再建の基本方針については変更はない。
- 再建計画の変更への同意は、今回で6回目となる。

1 歳入・歳出の見直し

(1) 歳入

国・道支出金（+286百万円）、諸収入（+98百万円）などにより、392百万円の増

(2) 歳出

人件費等（期末勤勉手当支給月数の1ヶ月復元等）（+40百万円）、維持補修費（+144百万円）、建設事業費（+159百万円）などにより、392百万円の増

2 主な変更事項

(1) 「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」等事業（285百万円）

国の21年度第1次補正予算において措置された地域活性化・経済危機対策臨時交付金等を活用し、市が作成する実施計画に基づく事業を実施

(財源) 国支出金（地域活性化・経済危機対策臨時交付金216百万円、地域活性化・公共投資臨時交付金26百万円、その他16百万円）
258百万円、一般財源27百万円

(主な事業)

- ①市本庁舎屋上の防水改修及び避雷針の改修工事（25百万円）
- ②老朽化した水槽付ポンプ自動車の更新（44百万円）
- ③老朽化した公営住宅浴室に係る改修工事（43百万円）
- ④倒壊危険性のある施設の除却工事（34百万円）
- ⑤公営住宅の維持に係る修繕（38百万円） など

(2) 補助費等 (140百万円)

夕張市新産業創造助成要綱に基づき、新たな産業の創造等に資する事業に対して、企業へ助成を行う「新産業創造等事業助成」など、新たな事情に対応し、必要な市民サービスを実施するもの。

(財源) 国・道支出金14百万円、繰入金4百万円、諸収入97百万円、
一般財源25百万円

(3) 第3セクター損失補償の一部繰上償還 (67百万円)

契約に基づき市が履行している損失補償について、契約先との調整が終了したことから、一部繰上償還を実施し、将来にわたる公債費負担の軽減を図るもの。

(財源) 一般財源67百万円

(4) 期末勤勉手当支給月数の1ヶ月復元 (40百万円)

市民への行政サービスを維持し、行政執行体制の確保を図るため、職員の処遇改善策として期末勤勉手当支給月数の1ヶ月復元を図るもの。

(財源) 一般財源40百万円

※ 変更については、国・道支出金や諸収入を活用するほか、前年度繰上充用金の減(▲172百万円)などにより対応するため、再建計画における赤字解消額の変更はない。